

府中市郷土の森博物館 企画展

ちょっとむかしのくらし その1

2025年12月19日

府中市郷土の森博物館

〒183-0026 府中市南町6-32

「ちょっとむかし」にはあってあたり前。
でもいまはみかけなくなった懐かしの道具を展示！
1960年代から使われはじめたくらしの道具を中心に紹介し、
くらしのうつりかわりをたどる展示会です！！

私たちは、洗たく機や炊飯器、電話機などといった様々な道具を使っていて、どれもいまのくらしに欠かせません。しかし、あまりにも身近なものなので、あらためてふりかえることはほとんどないと思います。

これらが広く使われはじめたのは、1960年代の「ちょっとむかし」からです。それは、1950年代以前からあった「むかし」の道具よりも便利なものばかり。そのため、人びとは洗たく機や炊飯器、電話機などを使うようになり、次第に家庭にあることがあたり前となったのです。すると、「むかし」の道具はくらしから少しずつ姿を消していきました。そのなかには、いまだとほとんどの人が使ったことがない、という道具も珍しくありません。このように、くらしの道具は変化してきたのです。

それでは、いまの私たちのくらしにつながる「ちょっとむかし」の道具はどうでしょうか。こちらも「むかし」の道具と同じく徐々にくらしからみかけなくなり、いまでは懐かしい、または珍しいと思われるような存在になっています。テレビや本などで昭和レトロとして注目される事はありますが、実物を見る機会は限られています。

本展では、そうした1960年代の「ちょっとむかし」に使われていた衣服・食事・住まいの道具を中心にお示して、くらしのうつりかわりを紹介します。くわえて、今回は1900～1960年代まで使われていた電話機から携帯電話に至るまでの電話機の変化をたどります。

会期：2025年12月13日（土）～2026年3月15日（日） 77日間

展示会場：府中市郷土の森博物館 本館2階企画展示室

観覧料：無料（ただし博物館入場料大人300円、中学生以下150円が別途必要、4歳未満無料）

主催：府中市郷土の森博物館運営グループ（公益財団法人府中文化振興財団・株式会社五藤光学研究所）

展示構成：1.衣服のお手入れ 2.台所用具の変化 3.ちょっとむかしの住まい 4.電話機のうつりかわり

◆展示会URL <https://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/tenji/1000074/1007763.html>

お問い合わせは下記へお願いいたします

学芸係広報担当

TEL 042-368-7921 FAX 042-360-8217

Eメール kyodo-no-mori@msi.biglobe.ne.jp

次頁へ続きます

展示資料例



初期型の炊飯器



一般家庭に普及はじめたころの冷蔵庫



ローラーで脱水する洗たく機



白黒テレビ



1900年代から1960年代にかけて
使われていたデルビル磁石式電話機



一般家庭に普及した
ダイヤル電話

他に、氷で冷やす冷蔵庫や電動ミシン、様々な時代の電話機などのくらしの道具を展示します！

展示会の様子

